

寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。
(令和5年12月16日～令和6年3月15日)

株松ちゃん給食様

株ビューテック様

鈴木敏雄様

他匿名希望者 2名(順不同)

寄付金(令和5年度)累計額 1,134,560円

新入職員挨拶

共同生活援助事業所 金光支援員



令和5年11月から入職しました金光と申します。生活介護で1カ月程、利用者様と関係を築き、2月からホーム専従職員として支援させて頂いています。利用者様達笑顔を見ることが大好きで私も幸せな気分になります。ホームでは笑顔と安全、安心を大切に守っていきたいと思います。不慣れな事も多く皆様にはご迷惑をお掛けする事もあるかと存じますが、一日も早く業務に慣れるように尽力しますので宜しくお願いします。

給食の変更のお知らせ

長年に渡って利用者様の昼食を提供していただいた「株式会社 松ちゃん給食」様の利用を、先方のご都合で令和6年2月末を持って終了することになりました。3月から新たに「株式会社 お弁当の浜乃家」様に昼食を提供していただいております。美味しい給食で利用者様の食を支えてくださいました「松ちゃん給食」の皆様には、心より御礼申し上げます。本当にお世話になりました。



浜乃家様ご提供のお弁当



新緑の季節が訪れ、春の陽光が心地よく肌を撫でる頃、改めて皆さまにおかれましてはお元気でお過ごしのことと存じます。本号の機関紙をお手に取っていただき、心より感謝申し上げます。新しい年を迎える中で、能登地方での震災で被災された多くの皆さまには心よりお見舞い申し上げます。今回はその能登地方にだんでらいおんから代表して応援職員として向かった統括施設長のご報告、昨年から新年にかけてのレクリエーションのご報告、新入職員挨拶、給食の業者変更のご報告を掲載しております。どうぞ一読よろしくお願い致します。(担当 森・池田)



特定非営利活動法人 だんでらいおん

たんぽぽ通信

令和6年春号

No.41

障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる
共生型の施設づくり及び地域社会を目指して

発行元：特定非営利活動法人

だんでらいおん

発行責任者：久保 哲哉

〒546-0023

大阪市東住吉区矢田5-9-8

TEL：06-7668-1101

発行日：令和6年4月19日

令和6年能登半島地震の発生に伴う 障がい者施設への応援職員派遣のご報告

統括施設長 辻 正晃

この度、元日に発生した令和6年能登半島地震により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、今もなお不安な日々を過ごされている方々が1日も早く日常の生活を取り戻せることを願うばかりです。1月27日(土)～2月2日(金)、全国社会福祉協議会の災害派遣福祉支援ネットワーク中央センターを通じて、被災した福祉施設等への応援職員として石川県鳳珠郡穴水町の『自立ホームけいじゅ』(以下、(ホーム))に行きまして参りました。法人の車で向かったのですが、のと里山海道の途中からは道路にズレが生じたことによる段差や、崖側道路の崩落により山側に緊急的に整備された迂回路を通行しなければならない状況でした。街中の道路も陥没や隆起・段差があり、走行には注意を要しました。過去にもニュース等で大きな災害による被災地の映像は見てきましたが、現地に入り、生活感のある家屋の1階や2階が潰れていたり、今にも倒壊しそうな建物を実際に目の当たりにすると、これまで以上に何とも言えない感情になりました。ホームに到着すると大変な生活を強いられているにも関わらず、初めてお会いしたご利用者や職員の皆様「遠いところを」とあたたかく迎えてくださり、その時の笑顔に、先ほどまでの感情から救われました。

ホームには防災拠点型地域交流スペースがあり

地域の避難所にもなっているので、世話人さんの半数程度が自宅の被災状況により出勤できない中、ご利用者支援だけではなく、ご近所からの避難者や自宅で生活を続けながら食事の提供や支援物資を受け取りに来られる方々の対応もされていました。先の見通しが立たない中、ホームを日常へ戻していくことと、避難所としての役割をいつまで継続するべきかという大きな課題も見られました。私がお手伝いしたのは、断水中なのでトイレ使用後に流すための水を近くの用水路でポリタンクに汲んで運んだり、支援物資の受け取り・補充などの力仕事や、ご利用者の各居室の片付け、自衛隊設営のお風呂への同行、共用スペースの清掃・消毒などでした。中でも施設の被災状況把握のために、建物や敷地内の多数の被害箇所(内壁の亀裂や地面のひび割れ、大型給湯器の倒壊など)を撮影し報告書としてまとめる作業では、職員の方々もそこまで手が回らない状況でしたので「助かった」と言っていたことができました。短い期間でしたが、被災後の生活でのいろいろな工夫などもお聞きしました。今回の経験を法人の防災対策に取り入れ、さらなる強化に努めて参ります。

いつの日かご利用者や職員の皆様と笑顔でまたお会いできますように……。



けいじゅの外観





クリスマス会

きょうどうせいかつえんじょ しきょうしよ しゅたん いけだ のぶひろ
共同生活援助事業所 主担 池田 信宏

令和5年12月22日(金)、今回も前田孝司様から頂いたご寄付でクリスマス会を実施することが出来ました。利用者の皆様・職員一同より、心から御礼申し上げます。

コロナウイルスの影響で数年間はグループごとに別々に行っていましたが、令和5年は松原市の「ふるさとびあプラザ」をお借りして、利用者様と職員が一堂に会することができました。参加者たちはクリスマスソング「ジングルベル」を合唱しながら始めました。令和5年は多くの施設外レクリエーションが行われ、その様子をスライドショーで上映、写真に写る自分を見て喜ばれる方やご自身を探される利用者様が見られ、楽しい時間を過ごされました。

昼食は、事前にアンケートで選ばれたマクドナルドとケーキが提供され、特に希望のケーキを楽しそうに食べる姿が見られました。皆さん、クリスマスの雰囲気を楽しまれている様子でした。

午後からのレクリエーションでは「冬の大運動会」と称し、大玉転がしや玉入れを行い、参加者全員が熱心に取り組み楽しいひとときを過ごしました。競技は引き分けに終わりましたが、皆が楽しんでくれたようで何よりです。来年度以降も皆様が一同に会するクリスマス会を実施していきたいと思います。





忘年会

きょうどうせいかつえんじょ しきょうしよ しゅたん にしの めぐみ
共同生活援助事業所 主担 西野 恵美

令和5年12月29日(金)、一年の最後を締めくくる忘年会を開催しました。利用者様39名、職員30名の総勢69名が参加しました。

年末に加え、大勢での利用で開催場所の確保に手間取り、少し遠方の「がんこ大阪狭山店」が確保でき開催となりました。食事は4種・飲み物は7種準備して頂けるとの事で、選択肢を広げて利用者様のご希望を伺うことができました。皆様、食事を前に『美味しうだね』などとコミュニケーションを図りながら表情よく召し上がられていました。

午後は施設に戻り、キーホルダー作りや家族様に宛てた感謝カードを作成しました。

利用者様から事前に聞き取りした好みの絵や写真のカードと、だんでらいおんのキャラクターのカードをキーホルダーの表裏に挟む簡単な作業と、感謝カードにはご本人の写真の横に家族様に向けたメッセージを書き、好みのシールを貼って感謝の気持ちを込めて作成されていました。

終礼で一年の頑張りを表彰された利用者様はとびきりの笑顔を見せておられました。事故、怪我なく締めくくることが出来ました。





新年会

きょうどうせいかつえんじょ しきょうしよ しゅたん やまざき かつひこ
共同生活援助事業所 主担 山崎 勝彦

